

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 消防団員貸与品購入費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	2	消防・救急救助体制の充実
小分類	1	火災予防活動の推進
主要な施策	4	消防団の活性化
事務事業番号	001	事務事業コード 23214001 事業開始年度 昭和 - 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	消防団員貸与品購入費
------	------	------------	------------

部 名	消防本部	グループ名	総務 G
-----	------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 非常勤消防団員
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) それぞれの職業に従事する一方、市民の生命、身体、財産の保全のため、日夜（災害・火災予防啓蒙・訓練等）献身的な努力を続けられている消防団員に対し貸与品の整備を行った。 (新入団員に制服・制帽・作業服・アポロキャップ・黒短靴を貸与し、経年劣化した団員に制服等を貸与した。)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 地域住民の生命・身体・財産を守り、消防活動の円滑な遂行と消防力の充実を図る。 (条例団員定数 191名 現在数 148名)
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 消防組織法 登別市消防団条例・規則

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	
成果 指標		人	目標値	10	10	10	10	10	
			実績値	5					
				目標値					
				実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	538	961	961	961	961	2,883
合 計				538	961	961	961	961	2,883
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
地域住民の安心・安全を守るため、消防力の増 強は必要不可欠であるため妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？
消防団員の実員数が増加傾向にあり消防力の強 化が図れている。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
平常時の訓練のほか、火災予防に伴う警戒広報 などに従事し、地域における防災の中核的存在 として活動している。 事業を継続的に実施することにより消防活動円 滑な遂行と消防力の充実強化を図ることができる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？
消防団員に必要な貸与品を購入するための予算 で削減が難しい。			

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	地域住民の防災意識の向上と消防団活動への理解及び協力を得て、消防力の充実強化を 図るため。
------------	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）